

Shikoku University Campus 2024.3 No.66

ヺヺッドスローボッ "人が真まる [人] をつくる、大学。















学長 松重和美

激動の中、大学も大きく変革中

令和6年(2024年)の年始は、能登半島で の巨大地震、そして羽田空港での飛行機事故 と痛ましい大惨事から始まりました。改めて、 平穏な日常の有り難さと共に、私たちは地球 そして世界の変動の中にあることを認識させ られます。

急速に進行する少子化の中、大学は淘汰の 時代を迎えています。社会の変革に伴い、大 学での教育の中身・方法、そして在り方が問 われる中、四国大学では、生成 AI や ICT の 進展も包含した教育・カリキュラム等の見直 しや業務面での DX を推進し、ウェブ対応や オンライン会議による業務の効率化、利便性 の向上を図っています。例えば、ペーパーレ ス化により毎年約100万枚の紙削減、また(こ の数年間で) 1億円以上の経費節減などの実 現です。更に、これからの大学を見据えて、 社会・時代の変化に応じた現学部学科の見直 しやデジタル分野の新学部(科)の創設の検 討・準備を進めています。

今春3月には、これまで通り対面の卒業式 の開催を予定しています。コロナ禍を経験し、 教職員と共に多くを学んだ学生の皆さんに は、本学の建学の精神"全人的自立"を堅持し、 見通し不透明な社会を力強く生きて、地域社 会に貢献して欲しいと願っています。



副理事長 山本 光憲

課題をいかに解決するか

年初に大きな震災がありました。 令和6年 能登半島地震で被害に遭われた皆様に、心よ りお見舞い申し上げます。

災害は人の想像を超えることが少なくあり ません。今回の震災でも多くの課題が浮き彫 りになりました。「課題をいかに解決するか」 これは社会において常に問われています。経 団連の調査による、産業界が求める能力の第 1位も「課題発見・解決能力」でした。就活 においては「ガクチカ(学生時代に力を入れ たこと)」などを通して多くの企業でそのこと を聞かれます。

将来のビジョンや目標が明確になっていな い学生も少なからずいます。キャリア形成の アプローチには「山登り型」と「筏下り型」 があり、そうした学生は後者タイプ (置かれ た環境の中で課題意識をもって意欲的にスキ ルを磨きキャリアを形成していく) になります が、不確実性が高まる現代においては、後者 のアプローチが増えているようです。卒業生 や学生たちには、現実を前向きに捉え、課題 を乗り越え成長してほしいと願っています。

2023年度も残りわずかとなり、新年度を 迎える準備が整いつつあります。そして本学 は2025年、学園創立100周年を迎えます。 これまでの感謝とともに、学園の未来に向け て皆様とともに新たなステージを目指したい と思います。

令和5年度 父母会だより



長尾 辰彦

会長あいさつ…

ポストコロナの時代に移ったかと思えば、 物価高騰や災害などで心配事は無くならない ことをひしひしと感じる日々です。

この1年の明るい話題としては、スポーツ 界の日本代表チームの盛り上がりがありまし た。野球のWBCを皮切りに、女子サッカー、 バスケット、ラグビー、男女バレーとワール ドカップ大会が続きました。チーム構成を見 ていて思うのが、どの代表チームにも、普段 外国でプレーする選手や外国籍のメンバー・ 監督がいることです。 DEI の言葉で表される多 様性・平等性・包括性が当たり前の時代になっ たことを知らされます。以前の助っ人外国人

に頼っていた時代とは様変わりして、様々な メンバーがいることで、チーム個々もチーム 全体もワールドレベルへ底上げがなされてい るように思えます。

今後の社会環境で DEI 化がさらに進むのは 疑いありません。学ぶ環境も働く環境もしか りです。四国大学も、国外との大学、学生と の交流環境など、どんどん進化しています。

父母会としては、物価高騰に対し、大学と 強調して食堂の食材費の補助を行うなど図っ て参りました。いつも父母会活動を理解して いただき感謝しております。今後も、様々な 意見をいただければありがたく存じます。

令和5年度四国大学父母会第1回評議員会及び総

令和5年6月4日(日)、10時30分から共通講義棟 R101 教室にて「令和5年度四国大学父母会第1回評議員 会|、13時から「令和5年度四国大学父母会総会|を開催し ました。長尾辰彦会長の挨拶の後、松重和美学長が挨拶を述 べ、続いて前年度事業報告及び決算報告、事業計画及び予算 の審議が行われ承認されました。役員改選を行い、退任役員 へ松重和美学長より感謝状と記念品が贈呈されました。議事 終了後、松重和美学長より「大学の現状と最近の取組につい て」、中田寛志学生支援担当部長より「学生生活について」、 須見力就職キャリア支援部長より「就職状況について」と題 して大学の現状報告が行われました。総会終了後には、各学 科・科・専攻ごとに、会員(父母)と教員による個別面談が 実施されました。





地区別父母懇談会

昨年に引き続き、沖縄県地区をはじめとして、香川県・中国 (広島県) 地区、高知県・愛媛県地区で地区別父母懇談会を開 催しました。各地区別父母懇談会では、長尾辰彦会長、松重 和美学長の挨拶に始まり、全体会・懇談会を実施しました。全 体会では、松重和美学長をはじめ中田寛志学生支援担当部長、 大住満寿夫課長、高橋哲治主幹、横井祥人課長補佐より大学 の現状報告を行いました。会員(父母)の皆様は熱心に視聴され、 有意義な会となりました。全体会終了後は、会員(父母)と教 員との学科・専攻別個別面談が行われ、学生の日常生活や学 業、成績、進路等についての思いや願い、要望等を熱心に相 談されていました。各会場での個別面談待ち時間には、保護者 の方同士がお話をする場面も見受けられ、親睦を深める良い機 会にもなったのではないかと思います。来年度も地区別父母懇 談会開催を予定しておりますので、今年度出席できなかった方

も参加していただけたらと思います。来年度の開催日程は、下 表をご覧ください。申し込みについては、追ってご案内します。





第2回評議員会

令和5年11月11日(土)午前10時30分から共通講義 棟 R102 教室にて、長尾辰彦会長はじめ役員・評議員、大学 側から佐藤一郎理事長・松重和美学長はじめ関係者 58 名出 席のもと、第2回評議員会を開催しました。長尾辰彦会長の 挨拶の後、松重和美学長が挨拶を述べ、議事に入りました。 議事では、長尾辰彦会長の議長のもと、小山勉良学生支援課 長より「父母会の活動状況」、「大学教育の支援事業」につい て報告がありました。議事の後、松重和美学長より「大学の 概要と最近の取組みについて」、及び中田寛志学生支援担当 部長から「より充実したキャンパスライフに向けて」の現状 報告がありました。また、評議員会当日は芳藍祭期間中でも あり、出席された評議員の皆様も学生の屋内展示・模擬店・ 演技発表等を観覧されました。





令和6年度地区別父母懇談会日程

会場	開催場所(予定)	開催日
大 学	学 内	R 6.6.2(日)
沖縄県地区	パシフィックホテル沖 縄	R 6.6.30(日)
香川県地区	ホテルパールガーデン	R 6.8.31(土)
中国地区(広島市)	ザロイヤルパークホテル広島リバーサイド	R 6.9.1(日)
高知県地区	未 定	R 6.9.7(土)
愛媛県地区	未 定	R 6.9.8(日)

第63回芳藍祭

これは完璧で究極の芳藍祭 - 天才的な藍ドル様ー







令和5年11月11日(土)~12日(日)に第63回四国大学·同短期大学部芳藍祭が盛大に開催され、 今回より模擬店の出店や体育館でのコンサートが復活し、コロナ禍前の形で一般公開をしました。

前夜祭は、雨天のため屋外舞台が使用できず初めての雨天中止となってしまいましたが、芳藍祭期間 中は天気も回復し秋晴れの中、屋内発表、演技発表、模擬店が行われ、熱の入った演技や展示、販売を 行いました。

また昨年に引き続き、30周年記念館前ステージでは海上自衛隊呉音楽隊によるコンサート、体育館 では「wacci スペシャルライブが開催され、迫力あるステージに大いに盛り上がりました。

今回の芳藍祭での各表彰・奨励賞を受賞された皆さんは次のとおりです。おめでとうございます。最 後に、芳藍祭の開催、運営にご協力いただきました企業、団体の皆様および地域の皆様ならびに保護者 の方々に深く感謝申し上げます。

第63回芳藍祭表彰一覧

テーマ・サブテーマ発案 経営情報学部 経営情報学科3年 大本 健太 表紙・ポスターデザイン発案 生活科学部 人間生活科学科2年 四宮 千尋

奨励賞一覧

部門	賞	団体名	内 容
屋内発表	最優秀賞	JAL×国際文化学科 × DISAC 共催ブース	JAL・DISAC との 共同企画
	優秀賞	人間生活科学科心理・ 養護コース	自分のからだについ て知ろう
演技発表	最優秀賞	吹奏楽部	演奏
	優秀賞	ダンス部 (S.D.crew)	演舞
	優秀賞	エアロビック・チア ダンス部	演舞
模 擬 店	グッドブー ス賞	女子バレーボール部	水餃子スープ
	グッドスマ イル賞	沖縄県人会	ヒラヤーチー・シー クァサージュース・ ちんすこう
総合	同窓会長賞	二大踊り	エイサー(沖縄)・ 阿波踊り(徳島)











- 来場者の声 -

久しぶりに模擬店の出店があり、 活気のあふれる大学祭に 戻りつつあり、嬉しい!









-来場者の声-初めて来たけど 本当に楽しかったです



書道パフォーマンス、 躍動感がありめちゃ かっこよかったです!







- 来場者の声 -頑張っている 姿勢が見えて よかったです













芳藍祭の開催に際しましてご協力、ご支援いただき、 ありがとうございました!

各クラブの活躍 スポーツ分野

●陸上競技部●

天皇賜杯第92回日本学生陸上競技対校選手権大会

全日本インカレ女子走幅跳で初の全国制覇!

令和5年9月14日(木)~17日(日) に学生最高峰の競技会である 「天皇賜 杯 第 92 回日本学生陸上競技対校選 手権大会(全日本インカレ) | が埼玉県 で開催され、木村美海(院/経情1)が



女子走幅跳で初優勝を果たしました! 木村は、令和5年 4月21日(金)~23日(日)に神奈川県で開催された [2023] 日本学生陸上競技個人選手権大会」でも初優勝を果たし ており、今年度全国大会 2 冠を達成しました。また、女子 400mR に出場した①前田莉佐 (生活 2)②相方紫帆 (経 情 2)③裏巽あや(健栄 2)④木村美海(院/経情 1)は、徳 島県で初めてリレー種目で全日本インカレに出場し、徳 島県新記録を樹立しました!本学は今年で全日本インカ レ8年連続入賞となりました。

令和5年6月1日(木)~4日(日)に「第39回U20日 本陸上競技選手権大会」が大阪府で開催され、U20 男子 ハンマー投に出場した吉田匠(経情2)が優勝し、自身初 の全国制覇を果たしました。また、同日に日本最高峰の競 技会である「第107回日本陸上競技選手権大会」も開催 され、岸野美雨(院/生活1)が女子三段跳に出場し、4位 に初入賞を果たしました!

今年度は3つの全国優勝、7つの全国入賞を果たすこ とができました。応援ありがとうございました。

女子サッカー部●

第32回全日本大学女子サッカー選手権大会四国大会

令和5年11月5日 (日) にあわぎんスポー ツガーデン (板野町) で「第32回全日本大 学女子サッカー選手権



大会四国大会」が行われました。インカレ代表決定戦とな る四国大学と徳島文理大学との対戦は、0-1で敗退し出場 権を逃しました。8年連続8回の出場となる大会でしたが、 連続出場は途切れました。来年度は、タイトル奪還、そして、 インカレベスト8を目指してチーム一丸となり頑張ろうと思い ます。

バレーボール部●

四国大学春季・秋季リーグ戦

全勝優勝 二冠達成!

令和5年5月13日(土)~14 日(日)に「第52回四国大学バ レーボール春季リーグ戦」が愛媛 県で開催され、I部で優勝しまし た。また、令和5年10月21日



(土)~22日(日) に徳島県で開催された「第59回四国 大学バレーボール秋季リーグ戦」においても、I部で優勝し、 二冠達成、四国の頂点に立ちました。

春季リーグ戦と秋季リーグ戦ともに優勝したことにより、 四国学連からの出場枠が2大学と限られている「第70回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会(全 日本インカレ)」の出場権を獲得しました。大会では、全国 の強豪チーム相手に善戦、健闘しました。

また、令和5年12月23日(土)~25日(月)に愛知県で 開催された「西日本大学バレーボール学連女子選抜対抗 戦 | には、選抜メンバーとして本学から5名が選出され、チー ムの中心選手として活躍、貢献し、多くの学びを得ました。

来年度は今年以上の結果が残せるよう、より一層邁進し ていきたいと思います。

●弓道部●

第48回全日本学生弓道女子王座決定戦

2年ぶり2回目の全国制覇達成

令和5年11月25日(土)~26日 (日)に第48回全日本学生弓道女 子王座決定戦(三重県伊勢神宮弓 道場)に中四国地区女子団体代表と して出場し、2年ぶりに全国制覇を



いたしました。その他、第67回西日本学生弓道選手権大 会(福岡)で女子団体優勝(二連覇)、第71回全日本学生弓 道選手権大会(兵庫)で女子団体準優勝、第68回中四国学 生弓道選手権大会(広島)で女子団体優勝(四連覇)を達成 することができました。

男子も令和5年11月23日(木)~24日(金)に第71 回全日本学生弓道王座決定戦(三重県伊勢神宮弓道場)に 中四国地区男子代表として出場し、初出場で全国準優勝を いたしました。その他、第68回中四国学生弓道選手権で 男子団体優勝(初優勝)を達成することができました。 今年度は、男子が全国で初入賞をすることができ、男女 とも活躍できた年でした。来年度も引き続き、全ての大 会で上位入賞ができるように日々練習に取り組んでいき ます。

●女子ラグビー部●

女子アジアラグビーチャンピオンシップ2023

創部初「日本代表選手」を輩出

令和5年5月28日(日)にカザフスタン・ アルマトイで開催された「女子アジアラグビー チャンピオンシップ 2023」に中村沙弥(管 🧣 栄4)が日本代表として試合に出場し、選 手がその国の代表選手に選ばれて、テスト マッチ(国同士の試合)に出場した者に与 えられる名誉ある日本代表の初キャップを獲



得しました。これは四国大学女子ラグビー部はもちろん、徳 島県の女子ラグビー史上においても初となる快挙です。 方、女子ラグビー部は令和3年度より参戦している女子ラ グビー国内最高峰「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ」 の入替戦で優勝を逃しコアチームから降格するという残念な 結果となってしましました。来年度はチームの結束力を更に 高め再昇格を目指して精進してまいります。

ソフトテニス部

第43回全日本大学ソフトテニス王座決定戦

『女子部: 3位入賞、男子部: 初出場』

令和5年5月3日~5日に香川県高松市において開催 された「四国学生ソフトテニス選手権大会」において、女 子部が 2020 年度の中止を挟んで 5 連覇を達成したことに 加え、男子部が念願の初優勝を果たしたことにより男女ア ベック優勝となり、各地方の1位校のみが出場できる全日本 大学ソフトテニス王座決定戦への出場権を獲得しました。

6月16日~18日に開催された本戦では、女子部は昨 年度同大会で準優勝しており、優勝を目指して戦いましたが 惜しくも3位となり、また予選リーグ突破を目指した男子部 は優勝した明治大学に善 戦するも敗戦するなど、 目標には一歩及びません でした。

その後は、西日本学生



選手権大会の女子ダブルスにおいて上田(管栄3)・冨樫(児 童 4) および箱崎(児童 4)・藤城(管栄 4)の2ペアが3位 入賞、全日本学生選手権の女子シングルスにおいて箱崎が 3位入賞、九州・中国・四国三地区学生選手権の女子ダ ブルスにおいて久留(健栄2)・谷(看護1)が優勝、同大会 の男子ダブルスで北岡(経情3)・工藤(児童1)が3位入賞 するなど、多くの大会で優勝・入賞することができました。

次年度は悲願の日本一達成に向けて取り組んでいきます ので、引き続き応援よろしくお願いします。

文化活動・芸術分野での活躍

生活科学部 人間生活科学科 デザインコース

2023年(令和5年)にデザインコースの学生が下記の 展覧会に出品し受賞及び入選しました。尚、二科展は全 国公募でプロの方々も出品するので入選は非常に厳しく なります。

2023 年9月 第 107 回二科展デザイン部門

入選 正木 香乃(4年)米田 遥(4年)

小川 日菜 (3年) その他、準入選 (13名)

入選作品は 9/6(水)~9/18(月)までの期間、東京 港区六本木の国立新美術館で展示されました。



(デザイン4年)



米田 遥 (デザイン4年)



小川 日菜 (デザイン3年)

2023 年5月 第29回放美展デザイン部門

優秀賞

斎村 美侑(4年) 優秀賞

藤井 寛喜(2年) その他 デザイン入選 7名 写真入選 2名

受賞・入選作品は 5/3 (水) ~ 5/6 (土) までの期間、あわぎん ホールで展示されまし た。



斎村 美侑 (デザイン4年)



藤井 宵恵 (デザイン2年)

英語スピーチコンテスト

全学生対象の英語スピーチコンテスト「吉野川杯」お よびレシテーションコンテスト「眉山杯」が、令和5年 12月12日 (火)、本学共通講義棟 R202 にて開催されま した。今年は3年ぶりに有観客で実施され、オリジナル・ スピーチ部門と、課題スクリプトを暗誦するレシテーショ ン部門を合わせ、全学から12名が参加しました。50名 ほどの聴衆を前 に、それぞれが 日頃の練習の成 果を披露しあい、 審査の結果、各 部門で以下の学



生が表彰されました。祝意を表すと同時に、 の今後一層の活躍を期待したいと思います。

スピーチコンテスト「吉野川杯」

第1位 Sumire Kagawa, "Is Rice on the Menu?" (国際 2)

第2位 Hasnahin Refat, "The Pygmalion Effect" (BC3)

第3位 Shiori Nishimura, "Love Yourself, Love Your

Body" (健栄 1)

レシテーションコンテスト「眉山杯」

第1位 Monica M. Manik, Abraham Lincoln's speech (BC3)

第2位 Ryota Imada, Abraham Lincoln's speech (日文1)

第3位 Rika Akaishi, Abraham Lincoln's speech (国際1)

第28回 全日本高校•大学生書道展

令和5年8月23日(水)~27日(日)の5日間、兵 庫県立美術館王子分館・原田の森ギャラリーにおいて公益 社団法人日本書芸院・読売新聞社主催「第28回全日本高 校・大学生書道展」が開催され、書道文化学科が大学(団 体)の部で優秀校(全国2位)に選ばれました。学生書道 のグランプリと称されるこの展覧会には、本学より毎回多 数の作品を出品しており、今回は278点の快作を出品し ました。

個人各賞には計39名(全54点)が入賞し、最高賞の書 道展大賞を【かな】笠井柚季 (4年)、児玉留実 (4年)、 近藤優菜(4年)【調和体】秦なごみ(4年)【漢字】三浦 武(3年)の5名が受賞しました。

また、令和5年8月27日(日)、ホテルオークラ神戸 で授賞式・祝賀パーティーが開催され、書道文化学科の学 生、教員の計18名が出席しました。書道展大賞・書道展

賞・優秀賞に選 出された作品は 公益社団法人日 本書芸院HPに て、VR 展示公開 中です。ぜひご 覧ください。



「イーグレッツサポーターズクラブフェスティバル 2023」

~地域とつながる大学スポーツ~

四国大学スポーツ・イーグレッツサポーターズクラブは、令和 4 年 4 月 の設立以来「スポーツ及び大学スポーツを『する』『見る』『支える』の輪 を広げよう」をテーマに、強化指定スポーツ部6競技(陸上競技部、弓道部、 女子サッカー部、女子バレーボール部、女子ラグビー部、ソフトテニス部) の活動を幅広い地域の方々にお伝えし、選手達との交流等を通じての地域 活性化等に取組んでおります。

令和5年度は、9月と12月の2回にわたって「イーグレッツサポーター ズクラブフェスティバル 2023 | を開催し、300 名近い大勢の会員様・一般 の来場者様が、大学スポーツに親しみ、学生アスリート達との触れ合いを 楽しまれました。

イベントでは、スポーツ交流を通して 日頃のご支援のお礼をお伝えし、大会さ ながらの迫力あるエキシビジョンマッチ で練習の成果をご覧いただきました。小 さなお子様にも楽しんでもらえる体験イ ベントやキッチンカーコーナーが家族連 れの方々に大好評で、笑顔と歓声が溢れ るお祭りイベントとなりました。

12月のイベントにご参加いただいた 阿波国慈恵院の皆さんからは、心のこ もったお手紙を頂戴し、スポーツ部・事 務局一同にとって何よりの励みになりま した。今後もスポーツを通じた人財育成 と地域貢献を積極的に推進して参りま す。









つむぐ、つながる、はばたく ~ 2025年 学園創立100周年 ~

本学が学園創立 100 周年を迎える 2025 年まであと 1年となりました。これまで学園の歴史や理念を具現 化したロゴマークの制作や 100 周年スローガン「つむ ぐ、つながる、はばたく」を策定するとともに、学園 創立 100 周年記念事業実行委員会を中心に記念事業の 具体化を進めてきました。2025年の記念事業について は、本学の創立記念日である11月4日を含む11月3 日(月・祝)から11月9日(日)までの1週間を「四 国大学100周年記念ウィーク」として、記念式典や記 念講演会、ホームカミングデーを開催することが決定 しました。そのほかにも各種記念イベントの開催、記 念誌の編纂、記念モニュメントの制作、記念グッズの 開発・販売など、様々な事業を展開していきます。

また四国大学学生プロジェクト支援事業(学生支援 GP) においては、「100 周年記念プロジェクト」の分 野を設定し、学生の皆さんが企画・運営を行う 100 周 年プロジェクトを募集します。大学の記念すべき節目 に在学する学生の皆さんとともに学園創立 100 周年を

盛り上げていきたいと思います。

引き続き 100 周年記念事業へのご支援・ご協力をよ ろしくお願いいたします。



100 周年記念しこぽん



学園創立 100 周年記念事業の詳細は順次、 100 周年特設 Web サイトで公開します。



キャリアセンターだより

2020年3月から日本国内においても新型コロナウィ ルスの影響が顕著となり、大学教育に関係する多くの部 分でも変化を余儀なくされた5年間となりました。昨年5 月に2類相当から5類への移行となって行動制限もほと んどなくなりましたが、現在の4年生については、入学 時点からマスクの着用や手指消毒、3 密を避けるなどの 行動が求められ、それが就職活動においても大きな足か せになったことは否めません。

そのような対面をできるだけ避けるための手段としてオ ンラインによる活動が進化し、その後多くの採用選考手段 の主流になりつつあります。授業の多くの部分でも利用さ れていますが、県内外を問わず1次面接の多くはパソコ ンやスマートフォンの画面で行われており、事業所側・学 生側共に利用技術は向上したことから教育・文化面へ寄与 ととらえるべきでしょうか。

また、この間に国のインターンシップに関する方針にも 大きな変化がもたらされました。行動制限の関係から対 面での実施は大きく減少しましたが、オンラインによる実 施が盛ん行われるようにもなりました。しかし会社説明会 程度の実施が多く、改めてインターンシップの意味が問 い直された期間でもありました。 令和5年度から大学生 等のインターンシップの取組がタイプ1~4に類型化さ れ、タイプ 1 「オープン・カンパニー」、タイプ 2 「キャリ ア教育」、タイプ3「汎用型能力・専門活用型インターンシッ プ」、タイプ4「高度専門型インターンシップ」となりまし た。タイプ 3・4 を実施した企業については、それを広報 活動や採用選考活動に使用できるようになりました。その 流れを受け、当該学年の学生の一部は、夏のインターン シップ後すぐにその企業から受験を勧められたこともあっ たようです。

そのような企業側の動きが影響したのかもしれません が、ある就職情報会社の調査によると、2025年卒業予 定者の12月末段階の内々定率は2割を超え、ほぼ同時

(別表) 就職支援関係行事

月	行 事
4月	学科別オリエンテーション
5月	第1回就職ガイダンス
	インターンシップセミナー①
6月	業界・業種・企業研究セミナー
	公務員対策ガイダンス
7月	自己分析・エントリーシート作成講座
	インターンシップセミナー②
8月	SPI対策講座①、②
9月	教員・公務員対策夏季特別講座
	教員対策ガイダンス
10月	第2回就職ガイダンス
	大学2年生対象就職ガイダンス
	第1回四国大学ジョブセミナー
11月	第2回四国大学ジョブセミナー
	保護者対象就職講演会
	自己 PR・エントリーシート作成講座
	学内企業研究会事前セミナー
12月	学内企業研究会
	就活応援セミナー (Web面接対策講座)
	グループディスカッション・集団面接対策講座
1月	第3回就職ガイダンス (就活直前セミナー)
2月	就活トライツアー直前セミナー
3月	就活トライツアー
	教員・公務員対策春季特別講座

期の調査で過去最高の数値を記録しているという状況で す。就職活動の早期化は、益々進んでおり、同時にこの 度のインターンシップの新体制が拍車を掛けたことが伺え ます。

このような時代に柔軟に対応し、希望企業への内定を 得るためにしていただきたいことがあります。それは、就 職キャリア支援課が行うガイダンスやセミナーにすべて参 加してもらいたいと思います。就活生として、どのように 準備し、どのように行動するのか、具体的な動き方を学ぶ のが就職キャリア支援課が行うガイダンスやセミナーで す。また、就職に関する相談や悩みは、個別にキャリアセ ンター職員や国家資格を有するキャリアカウンセラーがお 答えします。

次の別表には、令和5年度に実施した主な就職支援関 係行事を示しています。 その中から 3 つピックアップして その内容を簡単に紹介します。

◇第1回就職ガイダンス(実施日:5月17日)

大学生活での就職活動において、本格的に全体でのス タートとなるのがこの日となり年間3回実施します。本学 では就職活動のバイブルともいえる冊子「就職の手引き」 を毎年リニューアルして当該学生に配布して説明し、就職

活動の道しるべとして活用し てもらいます。具体的な就職 活動のスタートに始まり、会 社へのアプローチ、就職関 係書類の作り方、試験の受け 方など密度の濃い内容となっ ており、就職活動への大きな 第一歩となる催しです。



◇自己分析・エントリーシート作成講座(実施日:7月12日)

就職活動に際しては、多くの企業から最初にエントリー シートの提出が求められます。提供された様式に、「自己

PR」や「学生時代に力を入 れて取り組んだこと」などを 入力して提出するものです。 自己分析を正確に行い、それ を的確に表現することが求め られます。当日は各自のス マートフォンを使用して作成 練習を行いました。



◇学内企業研究会(実施日:12月6日)

本年は県内外より96の事業所が参加してくれました。 コロナ禍で実施した3年間を経て、今年は飛沫防止シール

ドを外したり人数制限を中止 するなど学生がのびのびと活 動できるように計画しました。 開場時間前から多くの学生が 列をなし、参加学生の一人あ たりの訪問企業数は3.8社と なりました。



私たちキャリアセンター職員は、皆さん全員が希望の 進路に進めるよう日々支援を惜しみません。もし、進路選 択で分からないことがあったり、就職活動に行き詰まった り悩んだりしたときは、ぜひ A 館2階のキャリアセンター に足を運んでください。

四国大学学生プロジェクト支援事業(学生GP)

令和5年度学生プロジェクト支援事業では、12件のプロジェクトが採択されました。前期にて活動を終了した短 期プロジェクト「認知症サポーター養成講座を開催しよう」は芳藍祭期間中にパネル展示による活動報告をし、その 他11件も中間報告を行いました。

今年度も多くのプロジェクトから学生目線での企画提案があり、採用された各プロジェクトはその目的を果たすべ く多種多様な活動を展開し、教育・研究や地域貢献など多岐に渡る分野で活動に取り組んでいます。今年度の全プロ ジェクトの成果報告として、令和6年4月16日に本学の共通講義棟において活動報告会を開催する予定です。



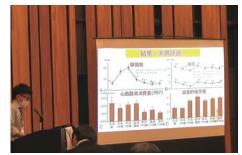
認証式



謎の絵師大島千々九斎に迫る



であう、つながる、ひろがる。 TAG-RI-BA 発のボードゲーム・コミュニケーション



次世代ナイチンゲールプロジェクトⅡ

四国大学後援会総会開催

11月10日(金)令和5年度後援会総会が、会長をはじめ役 員・会員13名、大学側から佐藤理事長他関係者16名の出席の もと開催されました。議事では、令和4年度決算報告、令和5年 度予算案、役員改選などが審議され、原案どおり承認されました。 次に、大学の現状報告として松重学長から「四国大学の最近の 取り組みー特徴・魅力ある、選ばれる大学を目指して一」と題し て、四国大学のブランディング事業、各種スポーツ大会での活躍、 大学改革と今後の視点、四国大学DX推進計画、学園創立 100 周年(2025年)に向けてなどの報告がありました。会員からは 後援会に寄せる活発なご意見を頂き盛会裡に終了しました。



